

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.164 2009.9.1

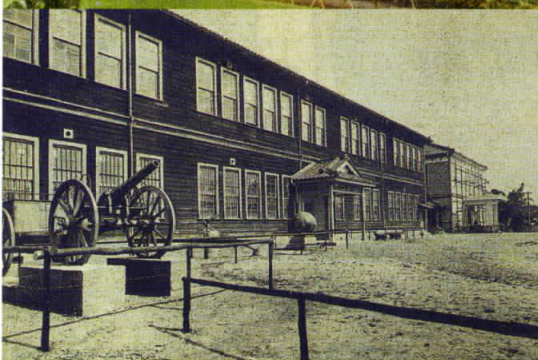
⑤ 現在の市立博物館全景



103rd Birthday

明治39年9月21日に誕生した松本市の博物館。103年の歩みを絵はがきでたどってみました。場所は本町の小学校校内から二の丸へ、二の丸から地蔵清水へ、そして再び二の丸へと動いています。

④ 中央公園並びに博物館
(昭和27年頃)



NOTED BUILDINGS AND FAMOUS PLACES
AT MATSUMOTO CITY, SINSYU DISTRICT.

③ 松本記念館(昭和18年)

萬葉に映えて
松本城の遺構は、松本記念館に引き継がれて、
今も、市民の文化活動の中心地として、
活躍しています。

明治三十七、八年
戦役記念館
(明治39年11月25日
記念印)

①



博物館企画展「博物館コトハジメ」

2009.9.19(土) > 10.12(月祝)

これらの絵はがきのほか、
博物館草創期の資料を
紹介します。



② 松本記念館 昭和初期

もくじ

誌上博物館◇木下尚江生誕140年記念特別展 2-3
ガイドコーナーはてんぼく 4

9月21日は、松本市博物館の日
○ 制定10周年 ○

木下尚江 生誕140年記念特別展



木下尚江 明治38年撮影
友人の幸徳秋水が出獄した記念写真（松本市歴史の里蔵）

1 木下尚江は終わらない

木下尚江の展覧会は、世論の動向、世の中の動きからひいき目に見ても余り関心は高まらないかな、と予想を立てていました。ところが最近、随分世の中が変わってきました。長野県でも満蒙開拓について語られる機会が増えています。核兵器をなくす方向での取り組みの変化が起きています。オバマ大統領の発言は大きな影響を与えました。NHKも日中戦争について報道するようになっていました。特別展で明らかにするのは100年も前のことですが、展示内容によって尚江を見直すきっかけになるかもしれないと、密かな期待を胸に特別展に臨むことができます。そこで、特別展名は『木下尚江は終わらない』（これからだ）になりました。

2 経歴は

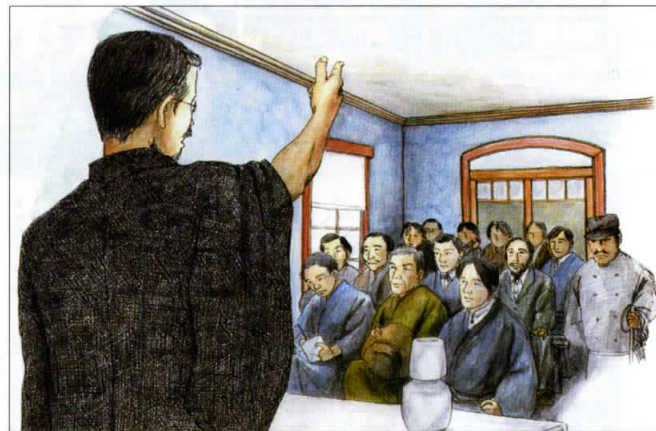
明治2年（1869）松本天白町で生まれました。東京専門学校（後の早稲田大学）卒業後、松本で信陽日報の記者となり、分県問題で地元の反発を招きます。22才の頃、松本禁酒会を作り、廃娼運動にも参加します。24才で、松本にて弁護士を開業、県会議員選挙で「恐喝取材」で検挙され、1年ほど監獄生活をします。東京へ出て、毎日新聞記者をしながら平民新聞に寄稿、民主主義を訴えます。一時期社会主義者とも名乗ります。日露戦争時は、非戦論で政府を追及します。その後、社会運動から遠ざかり、静坐をして自分を立て直しました。戦争の危機を感じると、著作を通して世の中に訴えようとなりました。昭和12年（1937）11月永眠。

3 尚江は民主主義者？

「尚江は社会主義者じゃないの？副題にどうして民主主義がついているの？」当時、民主主義は、政府からも、又民衆からも疎まれる言葉でした。学者も民主主義という言葉を使い換えて内容を表そうとした人もたくさんいたほどです。政府にとっては、思うように政治を動かせなくなるということで、嫌っていました。当然民主主義を訴える人への風当たりを強めます。こうした中で尚江は、社会で最も虐げられている人を見つめて世の中の矛盾を訴え、愛と自由平等の理想を掲げて民主主義を主張しました。普通選挙を直ちに実施することや戦争反対、これらのことを後に「純白の民主主義」と呼んで、世の中へ正面から訴えました。尚江の活動内容を見ていくとまさに民主主義の先駆者と言えましょう。

4 非暴力

「敵が暴力を使って攻撃する時は私どもも暴力も辞さない」権力の奪取、これが社会主義者の立場です。尚江は、敵が暴力を使おうとも、愛をもって立ち向かう人でした。トルストイに傾倒し、人類皆兄弟と考え、戦争は反対しました。時の権力者は、尚江の著作の多くを発売禁止としました。しかしそれに恐れることなく社会運動から離れた後も著作を発表し、戦争への警鐘を鳴らし続けました。



火を吐くような尚江の演説。警官が監視中。
（想像図／米山文香氏作画）

5 途中で社会運動から身を退いた理由

日露戦争後、母の死をきっかけに社会運動から離れます。理由は色々推測できます。

- ①それまで信じてきたキリスト教の神の観念が散ったため。
- ②本人は、「支配者の考えで政治を行っても良いとする考えが日本人の遺伝的体質です」と述べて

民衆の保守性を嘆いています。

- ③地上に愛の国をつくるという遠大な計画に無理があったともいえます。
- ④母の死、それに尚江らの批判演説がひきおこした古河社長夫人の身投げや、星亨の暗殺事件。
- ⑤母の死に伴って権力欲が砕けた。等が考えられます。この人生の危機は長く続き岡田虎二郎の静坐によって救われます。



木下尚江が描いた田中正造（佐野市郷土博物館蔵）。
尚江は正造を師と仰ぎ、その最後をみとった

6 主張は同じ ガンジーと尚江の違い

トルストイの非暴力の思想を広めるという点で2人は大きな共通点を持っています。しかし、ガンジーは国民から圧倒的な支持を受けていたのに対し、尚江はその点で大きな違いがあります。ガンジーは、イギリスの植民地国であったインドにいたため、主張は受け入れられやすかったのです。それに比べ、尚江の日本は侵略する側でした。日本に対するロシアの理不尽さも目立ちましたが、国民が加害者としての立場を意識するのは、かなり難しかったと言えるのではないのでしょうか。

7 尚江の人間性

自分の信じる道を選び、その道が如何に大変であってもその道を歩みます。キリスト教も教会の示す三位一体論には納得せず、教会から離れてキリストの教を自分なりに忠実に守り自らを「野生の信徒」と称しています。人生に何度もつまずき、その度に人の愛へ立ち返ることによって、現代にも通じる問題提起が為されていたと考えられます。つまずいた時は、自分の心を切り刻むようにして己に問い返しています。窪田空穂の尚江評を聞いてみましょう。「彼は常識的に言うと、むしろ変だと思われるほど正直で、それと共に、自身を思うと同程度に、他人を思わずにいられないという性情の

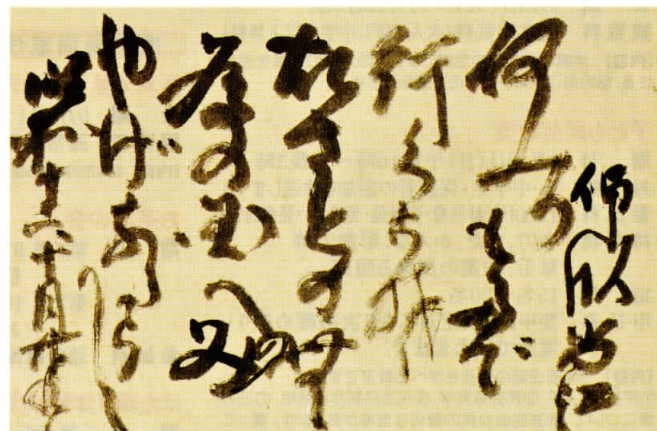
持ち主であったのである。その点、いにしへの聖者にも劣らないものがある。他面、何でもやってのける才情があり、負けず嫌いな覇気もあって、双方が同時に働くところから一見ある複雑な様相を示すのであるが、土台は無類の正直と人思いで、それが尚江の生涯を一貫していたのである。」

（出典：「思い出す人びと」『窪田空穂文学選集1』）

8 辞世の句の意味

『何一つもたで行くこそ故さとの無為の国へのみやげなるらし』

尚江の集大成といえる辞世の句は、なかなかむずかしそうです。岡田虎二郎の「静坐無為の国」の無為とともとれるそうですし、無為涅槃の仏教の意味にもとれるそうです。又老子の使用した無為の意味にもとれるとのこと。「何一つもたで」については田中正造の生き方が影響していることは察することが出来るのですが、田中は病気で倒れた時、小石少しと聖書ぐらいしか持っていなかったそうです。



木下尚江 辞世（松本市歴史の里蔵）
この句を彫った頭影碑が、城山公園に設置されている

9 最後に

尚江を勉強しながら、尚江への評価があまりにも低すぎると感じました。高等学校の日本史を見てもしかり、中学校もしかり。せめて松本の中学校では、きちんと歴史の中に位置付いた尚江を学習してほしいという願いを込めてだれでも読める尚江の図録に挑戦しました。辞書を片手にすれば小学校6年生でも可能です。多くの人に語り伝えられることを心から願っています。

（松本市歴史の里 館長／前田隆之）

9月21日は松本市博物館の日 松本まると博物館全館が無料開館となります。

松本市立博物館から ☎0263-32-0133

子規忌

期 日 9月19日(土) 午前9時～午後4時30分

バス見学会「七福神の旅」

期 日 9月19日(土)

定 員 20名

申込み 9月9日(水) 午前9時から
博物館へ電話のみ受け付け

重文旧開智学校から ☎0263-32-5725

明治の子ども作品展

会 期 9月2日(水)～11月30日(月)

会 場 1階特別展示室

観覧料 通常観覧料
(大人個人300円・小・中学生150円)

【内容】明治時代の習字、図画作品を中心に、当時の子どもの作品を展示します。

第3回「明治の授業を体験しよう!」

期 日 10月4日(日) 午前9時30分～11時30分

会 場 重要文化財旧開智学校校舎1階
特別展示室

問合せ 旧開智学校まで

【内容】明治時代の授業を遊びながら体験することにより、明治時代の人々の教育にける情熱に思いを寄せ、学校について考える機会とする授業を行います。

松本民芸館から ☎0263-33-1569

企画展「潮風の香り 沖縄のやきもの展」

会 期 9月8日(火)～11月15日(日)

観覧料 通常観覧料(大人300円、中学生以下無料)

【内容】沖縄は民芸品の宝庫です。その沖縄の潮風を思わせる、魅力あふれるやきものを展示します。

子ども民芸教室

期 日 9月13日(日) 午前10時～午後3時

対 象 小・中学生(保護者の参加も歓迎します)

参加料 1,000円(材料費・資料他・美味しい昼食付き)

持ち物 小刀、なた、かんな、彫刻刀等
軍手、作業の出来る服装

定 員 15名～20名

申込み 要申込み(定員になり次第締め切り)
電話で民芸館まで

【内容】今年新企画の民芸を学べる教室です。

①民芸って何? ②民芸館見学 ③民芸品制作に挑戦 の三方面について、民芸協会会員の親切な指導があります。奮ってご参加ください。

講演会「美を味わう日々の暮らし」

期 日 10月18日(日) 午後1時～午後3時

講 師 竹下賢一氏

(長野県松本工業高等学校美術科教諭)

聴講料 通常観覧料(大人300円、中学生以下無料)

【内容】「作る・集める・飾る」日々の生活の中に民芸を生かした暮らし方を学べる講演です。

旧制高等学校記念館から ☎0263-35-6226

ギャラリー企画展「地名校設立90周年記念展」

会 期 9月19日(土)～11月23日(月)まで

会 場 旧制高等学校記念館ギャラリー

【内容】大正8年9月に、松本高等学校とともに誕生した、地名校の第一期校である新潟、松山、山口の各高等学校を紹介しします。

第78回 サロンあがたの森

話 題 佐久間象山とその時代

話題提供者 井出孫六(作家・ルポライター)

会 期 10月10日(土) 午後1時30分から

会 場 あがたの森文化会館1-5教室

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

短歌講座

期 日 9月6日(日) 午後1時50分～4時

会 場 窪田空穂生家

講 師 内藤明氏 受講料 1,500円

申込み 事前に窪田空穂記念館まで

空穂生家将棋教室

期日及び講師

日 程	時 間	指導者	参加対象者
10月10日(土)	午前10時～正午	プロ棋士	小中学生
10月31日(土)	午前10時～午後4時	プロ棋士	午前/小中学生 午後/有段者～大人
9月5日(土) 10月3日(土)	午後1時～4時	地元指導者	小中学生

場 所 窪田空穂生家
(10月10日のみ まつもと情報創造館)

受講料 無料

空穂茶会

期 日 9月13日(日) 午前10時～午後3時

(受付は午後2時30分まで)

会 場 空穂生家

茶 券 1,500円(濃茶、薄茶の二席)

企画展「戦争と空穂一戦中・戦後の思いをたどる」

会 期 9月19日(土)～12月13日(日)

会 場 窪田空穂記念館

入場料 300円(通常観覧料)

【内容】歌人であり国文学者である窪田空穂が、戦中・戦後の混乱期をどう生き抜きどう詠ったのか、作品や書簡をとおしてたどります。

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

写真で見る松本市の建物流

会 期 9月5日(土)～10月18日(日)

観覧料 通常観覧料のみ

【内容】松本市内に残る歴史的な建物流を写真パネルで紹介しします。

お茶席の会

期 日 第6回 9月27日(日) 午前10時～正午
松風の会(表千家)

第7回 10月25日(日) 午前10時～正午

おしゃれ茶道の会(裏千家)

参加料 通常観覧料(大人個人300円、中学生以下無料)

はた織り体験教室

期 日 「第4回 箸入れ作り」9月26日(土)

午前の回:10時から/午後の回:1時から

「第5回 ペットボトル入れ作り」10月24日(土)

午前の回:10時から/午後の回:1時から

参加費 1,000円

申込み 第4回は9月8日より、第5回は10月6日
より馬場家住宅まで

※各回とも定員に達し次第締め切り(定員6名)

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

松本市アルプス公園「鳴く虫観察会」

期 日 平成21年9月12日(土) 午後6時～8時

集合/午後6時 山と自然博物館

会 場 松本市アルプス公園

対 象 一般及び小学校4年生以上

募 集 30人(定員になり次第締め切り)

参加費 100円

持ち物 懐中電灯・防寒着・防虫スプレー・雨天の場合は雨具。

申込み 山と自然博物館へ

【内容】初秋の夜、松本市・アルプス公園では多くの虫が鳴いています。「虫の調べ」を聞いてどんな虫が鳴いているのかを観察するものです。

歴史の里から ☎0263-47-4515

木下尚江生誕140年記念特別展

「木下尚江は終わらない—民主主義と非暴力を伝えて」

会 期 9月19日(土)～11月1日(日)

会 場 松本市歴史の里

観覧料 通常観覧料のとおり 休館日 月曜日

【内容】松本市出身の社会運動家木下尚江の生涯を、自筆原稿や写真などの資料で振り返ります。

関連事業 記念講演会

「信州の山河が木下尚江の空想をはぐくんだ」

期 日 9月19日(土) 午後2時～3時30分

講 師 清水靖久氏(九州大学教授・日本政治思想史)

定 員 50名

参加費 無料(観覧料が必要)

申込み 歴史の里へ電話で

関連事業 バス見学会「木下尚江ゆかりの地をたずねて」

期 日 9月26日(土) 午前9時～午後3時

行き先 松本市内・山形村(歴史の里集合・解散)

定 員 20名(先着順)

参加費 1,100円(資料代・保険料)

申込み 9月8日(火) 午前9時から電話で

時計博物館から ☎0263-36-0969

企画展「万葉集 享受の世界」

～國學院大學学びへの誘い～

会 期 9月19日(土)～9月27日(日)

※24日(木)は休館

会 場 時計博物館 3階企画展示室

観覧料 企画展は観覧無料(常設展は有料)

【内容】國學院大學図書館が所蔵する鎌倉時代の写本や注釈書などを紹介し、万葉集を受けとめた人々の営みをご紹介します。

関連事業 講演会

期 日 9月20日(日) 午後2時から3時30分

会 場 本町ホール(時計博物館4階)

講 師 城崎陽子氏(國學院大學兼任講師)

演 題 「万葉集 享受の世界」

定 員 80名 申込み 時計博物館まで

時計作り講座「機械時計をつくろう!」

期 日 第1回 10月18日(日) 午後1時30分～2時30分

第2回 11月15日(日) 午後1時30分～2時30分

会 場 時計博物館 3階企画展示室

対 象 小学校高学年の親子または中学生

参加費 1,500円 定 員 各回10組

持ち物 プラスのドライバー 申込み 時計博物館まで

【内容】おもちゃを動力とする初期の機械時計を作ります。

蓄音機で聴くSPレコードコンサート

期 日 11月3日(火・祝)レコードの日

午後2時～3時

会 場 時計博物館 3階企画展示室

参加費 無料

申込み 不要

問合せ 時計博物館まで

あとがき

現代に伝えられてきた日本の伝統技能。これまで、こうした匠の技を見てきた時、ただ保守的に代々技術が受け継がれてきたものだと思っていた。ところが、最近企画展で扱った江戸時代の特産品や和時計などをみると、逆に代々の製作者たちが改良や工夫を積み重ねてきた結果、継承されてきたのだと感じた。日本の伝統的技術者たちに脱帽。(Y.T.)

あなたと博物館 No.164

発行年月日/平成21年9月1日 編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL: http://www.matsu-haku.com
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp 印刷 川越印刷株式会社